

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	05	01	184350	定住促進事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	UIJターナー者及び空き家バンク利用者の定住を目的として、新築・建売・中古住宅の購入と空き家バンク利用賃借に対し、補助金を交付する。					
対象	UIJターナー者・空き家バンク利用者					
意図	定住促進と優良な住宅の取得の負担軽減を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
UIJターナー者住宅購入補助事業 ■花巻市内に居住を希望するUIJターナー者が、新築又は中古住宅の購入の補助金交付対象経費に対し、補助金を交付する。 ■空き家バンク利用者の住宅取得・住宅賃借の補助対象経費に対し、補助金を交付する。						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		○ 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 補助金に対する問い合わせ件数	件		計画	60	60	
			実績	23	39	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 補助金交付件数	件		目標	20	6	
			実績	2	6	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市外の方が補助対象となることから、広報手段が少なく、十分な周知を図ることができなかったため、指標の目標値を達成できなかったものとする。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	申請受付順により交付することとなるが、広報・HP等広く広報することにより公平性を保つ。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	UIJターナー者及び空き家バンク利用者の定住を進めるため、補助対象である市外の方への有効な広報手段を検討し、実施する必要がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	制度の見直しをこまめに行うことにより、移住者のニーズにあった補助事業にするべきであることから、市場調査等事務的な負担が大きくなってくると思われる。定住人口を増加させるためには事業費の削減は難しい。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	予算の都合上、先着順となる。
	○ 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
制度の見直しをこまめに実施していることにより、利用者が増加しており、目的に沿った転入者が、補助を受けやすい制度となってきた。 空き家バンク利用者を補助対象者に加え、さらにリフォーム実施の場合の申請期間延長を行ったことから、制度導入時の目的である移住者の増加のみならず、空き家対策の一助となっている。 広報について、平成27年度は建設業者、仲介業者、市役所窓口とふるさと回帰支援センターへチラシの配布依頼を行ったが、平成28年度はこれらに加えて金融機関の窓口にも依頼したことが、実績増加につながったものと思われる。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	05	01	184350	定住促進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,304	9,916		7,612
財 源 内 訳	国・県	2,108			△ 2,108
	地方債				
	その他				
	一般財源	196	9,916		9,720

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
安心して生活できる住宅の確保を図る

事業開始の背景・経緯
平成27年度から、ひと・まち・しごと創生事業により、転入者の増加を目的として、補助金制度を導入した。

事業概要
UIJターン者住宅購入補助事業
 ■花巻市内に居住を希望するUIJターン者が、新築又は中古住宅の購入の補助金交付対象経費に対し、補助金を交付する。
 ■空き家バンク利用者の住宅取得・住宅賃借の補助対象経費に対し、補助金を交付する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
補助対象者が、県外在住者であることから、情報提供する手段が少ない。不動産取引業者や民間の意見を聞き取り、対応する必要がある。

担当部署 部名 地域振興部 課名 定住推進課 担当係長 高橋信一郎 内線 213 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 UIJターン者住宅購入等補助 9,916 千円
(花巻市定住促進住宅取得等補助金)
 ■補助申請件数 6件
 ■子育て世帯利用者件数調べ
 平成27年度 2件
 平成28年度 4件
 ※子育て世帯・空き家バンク利用者
 平成28年度の件数について、1件重複。
 ■空き家バンク利用者件数調べ
 平成27年度 0件
 平成28年度 3件

■補助対象経費の試算について

		住宅取得	住宅賃貸
売買契約時	印紙代	10,000	
	印紙代	10,000	
	登録免許税	284,000	
	司法書士報酬	55,240	
	不動産取得税	72,000	
	融資手数料	60,000	
	旅費	120,000	120,000
	火災地震保険	150,000	
引渡し代	固定資産税	150,000	
	引越し代	200,000	200,000
	転校経費	100,000	100,000
	家具購入	400,000	400,000
	家電など	300,000	300,000
	ベット	10,000	10,000
	リフォーム代金	2,000,000	2,000,000
	合計	3,921,240	3,130,000

- 制度のPR活動
 - ・秘書政策課において開催されるイベント等によるPR活動
 - ・市内の不動産会社や、建築業者等へ制度の情報提供を行った。
 - ・花巻市HPや空き家バンクHPへの掲載
 - ・金融機関（融資窓口）にチラシ配布依頼